

火災に強い住宅に助成金 - 西日本防災システム

2013 09 13

弊社拠点の神戸市ではこのたび、木造住宅が密集する市街地で火災の被害が拡大するのを防ぐため、火災に強い住宅への建て替えへの補助制度を新設したようです。特に密集度が高い地域に指定されている4つの地域が対象で、1件あたり100万円を助成し、街の不燃化を進めるようです。このような取り組みは関西では珍しいようです。

新制度の対象区域は、灘北西部、兵庫北部、長田南部、東垂水の4地区内の指定地域です。いずれも平成7年の阪神大震災時の被害が小さかったため、古い住宅が密集して残存し、道路も狭く、地震時などの火災が広範囲に燃え広がる危険性が非常に高い地域です。

ところが、柱や壁などが鉄筋コンクリート造りの「耐火建築物」や、燃えにくい建材を使った「準耐火建築物」への建て替えは、通常の木造住宅の建築費よりも費用がかかるため、市が一部を助成し、燃え広がりにくいまちづくりの促進を目指すようです。

助成対象は、延べ床面積が40㎡以上500㎡以下の一戸建て住宅や長屋、共同住宅への建て替えなどが要件だそうです。建築基準法で耐火・準耐火建築物にすることが義務づけられている3階建て以上の住宅などは対象外となります。

神戸市は「将来想定される大規模災害に備えて、必要があれば、他の地域でも住民と話し合いをしながら対象地域拡大も検討していきたい」としています。

問い合わせは 市まち再生推進課 078・322・6609
燃えにくい街を目指しましょう!



西日本防災システム
NISHINIHON BOHSAI SYSTEM Co., Ltd
<http://www.nbs119.co.jp/>



弊社top pageへ 